

令和7年度中学生『まちづくり夢・未来会議』

7月28日、大河原町をより魅力的で、住みよい町にしていこうとする心を育て、まちづくりへの関心を深めることを目的とした「まちづくり夢・未来会議」が、にぎわい交流施設（中央公民館）で開催されました。

大河原中学校・金ヶ瀬中学校の代表生徒23名が4つのグループに分かれ、「今建設が進められている賑わい交流拠点施設をより有効に活用していくために何ができるか。（希望する施設設備とイベントなどの活用方法を考える）」をテーマにワークショップを行い、まちづくりへの提案を発表しました。

Aグループ

- ボールプールや滑り台、カフェがあり子供から大人まで楽しむことができる室内の遊び場を提案する。カフェは遊び場の隣にあり、ガラス張りにすることで、子供たちが遊んでいる様子が見えるようにする。
- 室内の遊び場の隣に高齢者向けの健康器具を設置することで、幅広い年代のかたが集まることができる。



Bグループ

- 安全対策を講じて、季節の祭りにタレントの狩野英孝さんを呼ぶ！
- 白石川を利用して釣り大会を開催する。ライフジャケットを貸出したり、釣り道具のレンタルを行うことで多くのかたが気軽に楽しめる。
- バスを運行させることで交通が便利になり、町内外のかたも気軽に行くことができ、公園を利用するかたが多くなる。

Cグループ

- カフェのなかに、アスレチックとジムを作り、室内で大人と子供のどちらも運動を楽しむことができる施設を作る。カフェのメニューは、小中学生で考えたり、四季で楽しめるようなメニューにする。
- 水場ゾーンをつくり、多くのかたに来てもらえるような水上アスレチックや水に入って遊べる噴水を設置する。



Dグループ

- 大人から子供まで楽しめ、地域のかたとも交流できるよう、芋煮会を開催する。大河原町で採れた野菜を使うことで地産地消にもつながる。
- 季節ごとのイベントと併せて気球の遊覧飛行を行う。なかなか経験できないため、集客が見込まれ、季節ごとの景色を楽しむことができ、自然豊かな大河原町をアピールすることができる。

※各グループの意見を、抜粋して紹介。



第2回東北環境整備杯パークゴルフ大会



7月19日、おおがわら千本桜スポーツパークパークゴルフ場のネーミングライツパートナーである東北環境整備株式会社が主催する「東北環境整備杯パークゴルフ大会」が、昨年に引き続き開催されました。

大会には、県内外から88名が参加し、猛暑にも負けず、優勝を目指して熱いプレーが繰り広げられました。

大会結果（敬称略）	
【一般男性の部】	【一般女性の部】
優勝 佐藤 勝見	優勝 齋藤 洋子
準優勝 横井 等	準優勝 宮崎 豊子
第3位 高野 勇造	第3位 本田 道子

ヒルズはねっこアリーナにベビーケアルームを設置



7月7日、ヒルズはねっこアリーナ（総合体育館）の2階に、ベビーケアルームを設置しました。

外出先でも安心して授乳やお子さんのお世話等ができる環境づくりを目的として町が設置したものです。ベビーケアルーム内は、温かみのある照明や木のぬくもりで優しい雰囲気を感じます。

町内では役場庁舎・オーガを含めて3か所目の設置となりました。

設置にあたっては、宮城県置き型授乳室設置促進事業補助金と森林環境譲与税を活用しています。

算数チャレンジ大会&数学オリンピック 2025



7月23日、にぎわい交流施設（中央公民館）において、「おおがわら算数チャレンジ大会&数学オリンピック2025」が開催されました。

算数チャレンジ大会は、町内の小学5・6年生63名、数学オリンピックは町内の中学1・2年生18名が参加しました。小中学生とも、個人問題の部とチーム問題の部の2部構成で行われました。チーム問題の部では、出題された難問に3人1組で仲間と相談しながら挑んでいました。

大河原産業高等学校 インターンシップ体験



7月24日・25日・28日の3日間、大河原産業高等学校の生徒4名が大河原町役場にてインターンシップ体験を行いました。

インターンシップ体験を通して、地域社会への理解・関心を深めるとともに、将来の人材育成を促進することを目的として町が受け入れを行っているものです。

生徒たちは、実際の業務の体験や町内の施設見学を行い、「持っていたイメージが変わった!」、「初めて知ることが多く、とても関心が持てた。」などと話していました。